

公民館の取組

人権教育研修会

10月3日(土)、ノアホールにて人権同和教育研修会を行いました。自身も発達障がいがあり、臨床発達心理士である、山陰発達障がい当事者会・発達障がい支援者の会スモステの会代表の難波寿和さんを講師に迎え、「こちら、発達障がいの世界より生きやすく生きることを求めて」という題材で講演を行いました。

新型コロナウイルス感染拡大の防止のため、海士町をメイン会場にオンラインでの講演でした。さらに人数を絞るため、教育関係者、福祉関係者、行政関係者に参加を募りましたが、全体で35名の参加があり、改めてみなさんの関心の高さを感じました。

講演会では、講師の経験をふまえた支援の在り方についての話を聞くことができ、参加者から、「当事者・支援者両方からの話が聞けて良かった。」「自分の関わり方を見直していきたい。」などの感想を頂きました。発達障がいについて学びが深まる良い研修となりました。

しまっこ広場
スポーツをしよう

10月10日(土)、町民体育館で、スポーツ推進委員の指導による放課後子ども教室(しまっこ広場)が開催されました。本町には7名のスポーツ推進委員が

おられ、当日は4名の委員と2名のしまっこボランティアさんが、参加した20名の子どもたちにスポーツ(ラダーゲッター、バドミントン)の指導を行いました。

会場は終始にぎやかな笑い声に包まれ、子どもたちもスタンプも楽しみながら汗を流しました。

今年度は子どもたちがスポーツを楽しめるような支援を継続していく予定です。どうぞお楽しみに。



スポーツ推進委員とは？

「スポーツ基本法」で規定されている地域スポーツの推進役です。教育委員会が委嘱する非常勤職員として、スポーツの推進のための活動(事業実施に係る連絡調整、スポーツに関する指導及び助言)を行っています。



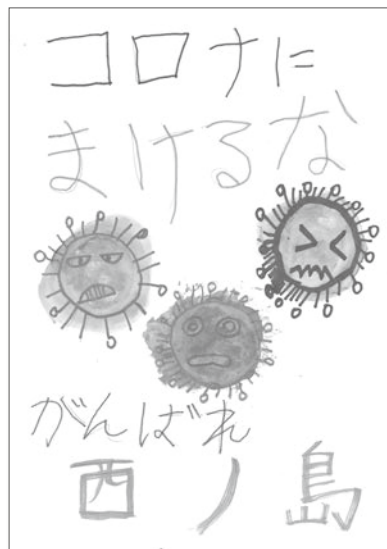
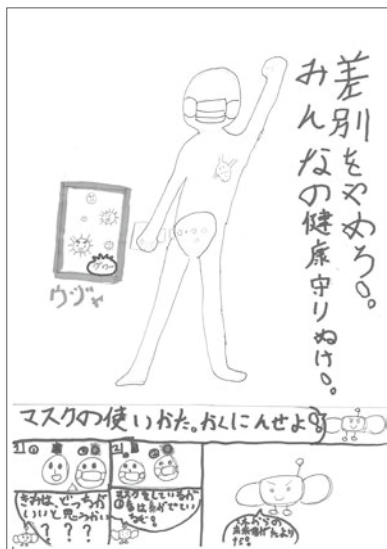
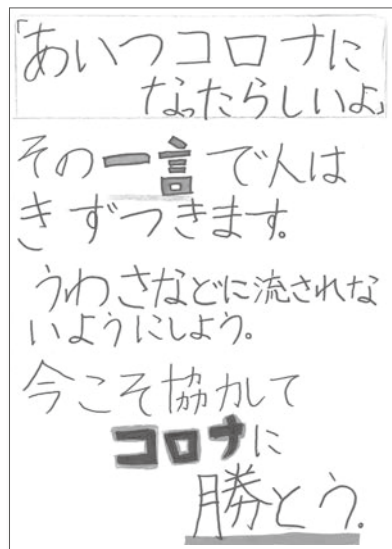
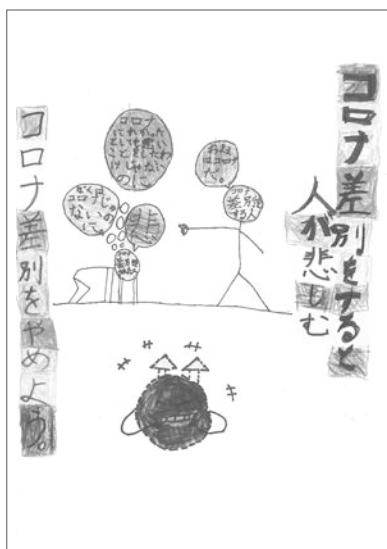
吉井先生の絵画教室
「読書週間の看板を作ろう」

10月17日(土)、若者宿で、絵画教室を行いました。中学校で美術の非常勤講師をしている吉井玲香さんを講師に招き、ステンシルという技法を用いて、読書週間の看板を作りました。

初めてカッターを使用する子もおり、悪戦苦闘していましたが、自分の好きな絵本キャラクターを大きな看板に色づけしました。作業に没頭する子、友だちと声を掛け合いながら活動する子など、楽しく取り組むことができました。なお、作成した看板は読書週間に合わせて図書館に展示しました。



人権意識を高く持ち、住みよい西ノ島町にしましょう!



▶西ノ島小学校ボランティアクラブ作成 ◀ 城西涼花 (6年)・関谷怜 (5年)・新澤颯太 (4年)・土屋うた (4年)・山本梨佳 (4年)・綿谷柊吾 (4年)

闘う相手はウイルスです。人ではありません。
 こんな時こそ、一致団結して、ウイルスに打ち勝ちましょう!

《新型コロナウイルスに関する人権侵害の相談窓口》

島根人権啓発センター ☎ 0852-22-7701
 法務局「みんなの人権110番」 ☎ 0570-003-110
 西ノ島町役場 町民課 ☎ 08514-6-0103

